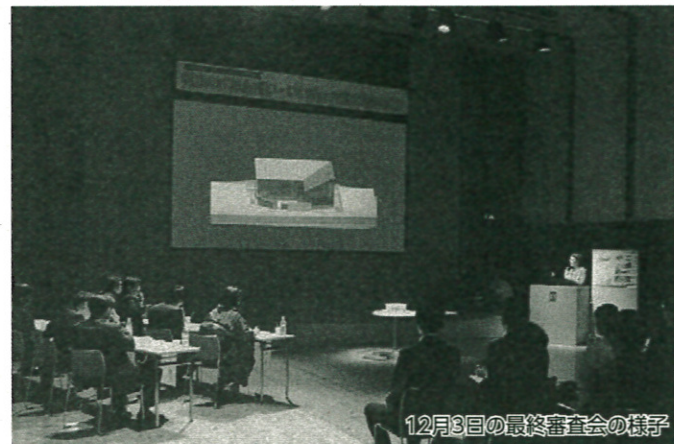


若者世帯が建てたくなる、建てられる家づくり

第3回村山の「あんばい・いい家」審査結果

問合せ／政策推進課地方創生係 ☎内線 271

村山市では、まち・ひと・しごと創生総合戦略「住みたい、帰りたい、ひとを増やそう」の一環として、第3回村山の「あんばい・いい家」大賞設計コンペを行いました。



12月3日の最終審査会の様子

これまでメインテーマを「雪を考えた住宅」にして2回実施してきました。今回は、市外流出が重要な課題となっており、若者世帯に焦点を当て、メインテーマを「若者世帯が建てたくなる、建てられる家づくり」に設定。11月から分譲申込受付を開始したスマイルタウン鶴ヶ町の宅地をイメージし、雪対策はもちろん、子育てや一家だんらんにも暮らせる設計案を募集しました。設計コンペには、全国から65点の応募があり、10月20日に一次審査を実施。審査を通過した12作品の中から12月3日に顕業プラザで実施した最終審査会で入賞作品を決定しました。

※今回は大賞の該当作品はなく、準大賞、奨励賞、佳作の選出となります。

入賞者（敬称略・応募順）

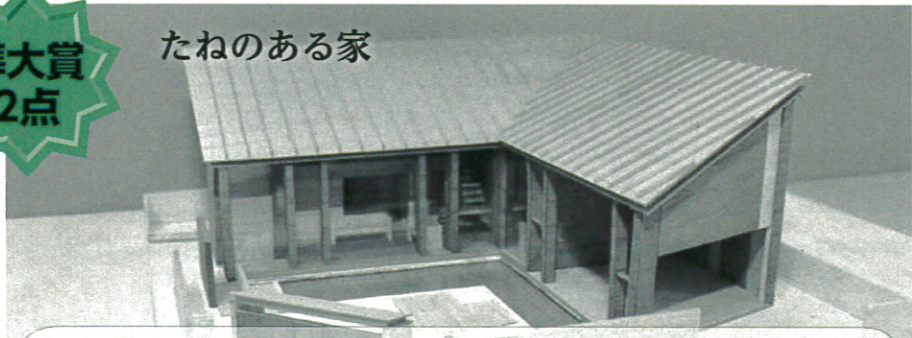
- 大賞
 - ・該当なし
- 準大賞
 - ・鹿島建設株式会社一級建築士事務所 瀧澤一貴（愛知県）
 - ・(有)柴崎浩一設計事務所 柴崎浩一（村山市）、五十嵐建築設計事務所 五十嵐理恵（東根市）
- 奨励賞
 - ・アトリエベンギン一級建築士事務所 菊地悠子（東京都）
 - ・(株)金内勝彦設計工房 金内勝彦、早坂将太（山形市）
 - ・奥原和明（沖縄県）
 - ・大宇根建築設計事務所 宮向健司、田中慎一、山田芽里（東京都）
- 佳作
 - ・(株)森本組（東京都）

設計を利用し新築する方へ助成します

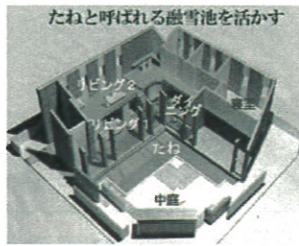
入賞した設計コンセプトを利用し、市内に新築する方には、設計費の2分の1（最大150万円）を助成する予定です。入賞作品の閲覧や助成の詳細内容については、お問い合わせください。

準大賞 2点

たねのある家

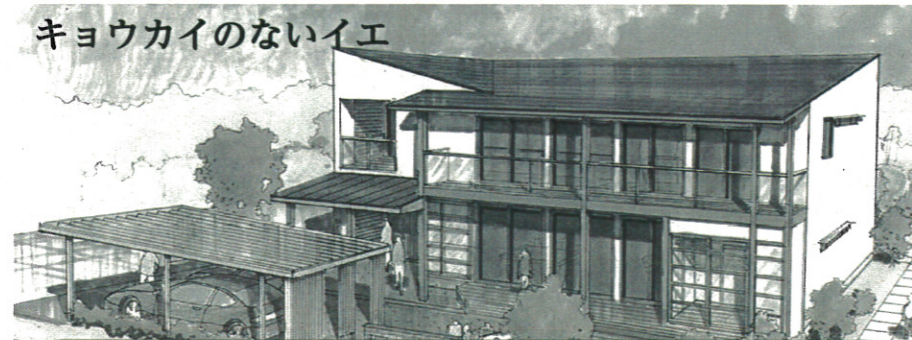


【ポイント】
「たね」と呼ばれる融雪池が、屋根の雪下ろしを省くとともに、冬場の採光の確保や夏場の蒸散作用による冷感等、四季を通じて生活環境を支える。たねや中庭の緑を生かした、風土へと開かれた住まいの提案。



瀧澤一貴さん

キョウカイのないイエ

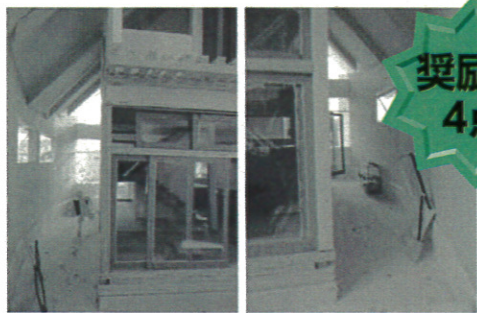


【ポイント】
壁面後退を利用し路地を通す。路地は子どもの遊び場や地域の交流を生む場所となる。建物の内と外の間で中間スペース（半屋外）を設け、気軽な交流場所や一部サンルームとして使用。境界を設けず地域に溶け込む開放的な家の提案。



柴崎浩一さん（写真左）
五十嵐理恵さん（写真右）

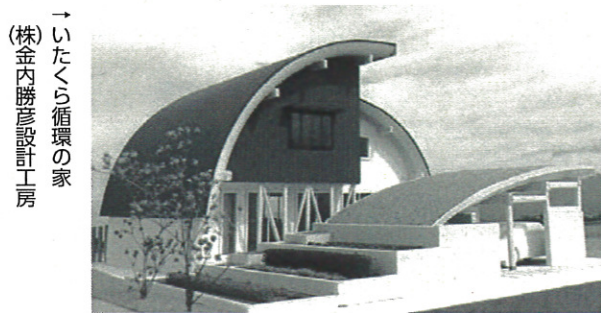
奨励賞 4点



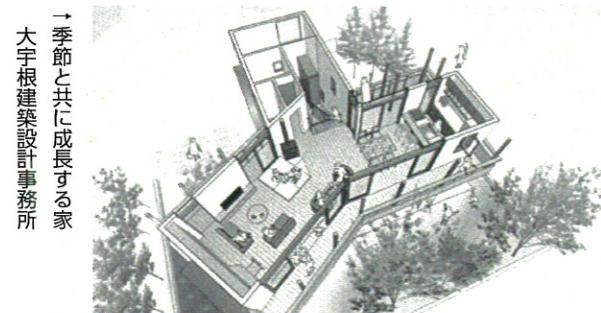
↑土間がぐるりの家
アトリエベンギン一級建築事務所



↑四季を纏う暮らし
奥原和明



↑いたく循環の家
(株)金内勝彦設計工房



↑季節と共に成長する家
大宇根建築設計事務所